
岐阜県立可児工業高等学校

学校長 岩田 幸作

学校住所 可児市中恵土 2 3 5 8 - 1 電話0574-62-1185

- 1 会議の名称** 学校評議員による会議（第2回）
- 2 会議の構成**

委員	徳田 泰昭	可児工業団地組合代表〔徳田工業(株)社長〕
	藤田 美知子	可児市青少年育成会議副委員長
	水野 三千代	多治見法人会可児支部女性部会長 〔キング印刷紙工(株)取締役〕
	三宅 満	可児市中恵土自治会連合会長
	山田 良二	可児工業高等学校同窓会長 〔カヤバ工業(株)生産技術課長〕

（委員名は五十音順）

学校側	岩田 幸作	校長	古田 哲	教務主任
	山川 清	教頭	川合 正郎	進路指導主事
	渡部 邦夫	教頭		
	古川 司朗	事務長		
- 3 会議の目的** 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、もって本校教育の一層の改善・充実に資する。
- 4 会議の開催** 平成17年11月19日（土） 10：00～13：00
於：可児工業高等学校 校長室
委員5人、学校側6人が出席
- 5 会議の概要** 今回は、可児工祭を見学していただいた後、学校の近況報告をし、評議員の方々から可児工祭についての感想・意見や外部評価結果についての意見をいただいた。また、PTA食物バザーの試食をしてもらった。

(1) 可児工祭について

- 意見 1 ものづくりが体験できるのは、工業高校ならのものである。
- 意見 2 比較対象を知らないのので、どこと比べてではないが、肩の力を抜いて取り組んだとのことであったが、力を抜いてこれだけのことができるならすごい。
- 意見 3 何をやるかを考えるのは、生徒か教員か。
(教員が経験をふまえて提案したり、ノウハウをアドバイスしたり、生徒の感性を活かしたりしている。)
- 意見 4 工業高校の文化祭を初めて見たが、普通校にはないものづくり体験は親子で楽しめ、すごくよかった。高校生でこれだけできるのか、結構技術もあり、勉強しているなど感心した。
(高校生はきっかけを作ってやれば力を発揮する。)
- 意見 5 気に留めたのが沖縄の修学旅行の展示だったが、何を見てきたのか、生徒自身の思いが書いてなかったのが残念であった。また、大きな水車の作品がすごかった。以前見学したときより作品が増えていてよい。
- 意見 6 P T A 食物バザーの取り組みには、結構父親も参加されていた。
- 意見 7 完成した作品展示だけでなく、それを製作する工程での苦労した部分がわかるよう表現できるとよい。
- 意見 8 体育館は出入りしやすいし、いくつかの発表コーナーがあり見やすかった。教室ごとの発表は場所がわかりにくく、2・3階は上がっていくのが大変で出入りがしにくい。の教室は出入りしにくい。また、正面の掲示板はよかったが、パンフレットの案内図はわかりにくい。発表会場を1階に集中させたり、掲示板を大きくしたり、掲示板の前に案内係を置いたりして、外部の人に出入りしやすくわかりやすく見学してもらうか工夫が必要である。
- 意見 9 M S リーダーズの対応はよかった。普段から対外的行事に参加し、いろんな人と接して会話しているので慣れているからでしょうか。
- 意見 10 展示はただ見てるだけではわからない。聞けば生徒は親切に説明してくれる。生徒の方から進んで説明するとよい。
(本校生徒は挨拶はできるようになったと思うが、言葉で表現するのは苦手である。もう一歩進んで声をかけたり、相手をしたりするコミュニケーションがとれるようになればと思っている。本校の課題である。)
- 意見 11 外部の人が嬉々としてもものづくり体験に参加している。参加型のイベントは続けてほしい。
- 意見 12 一般公開はよいことである。先生方は大変だが、外部の人と直接やりとりができ、外部の人の声が聞ける機会であり、また、外部の人に工業高校をわかってもらうよい機会である。
(公開して心配なのは、他校生や外部の若者たちが来たときに、生徒がきちんと対応